

食育事業取組報告書(二葉小学校)

|           |  |  |   |
|-----------|--|--|---|
| 食育活動区分    | (該当するものを口で囲む)<br>育てる・作る・食べる・返す   | 実施年月日  | 令和4年 5月～10月                             |
| 教科名       | 生活科  | 指導者  | 1:二葉小ボランティア<br>2:教諭 白井沙也加<br>3:教諭 横井つむぎ |
| 単元名       | サツマイモを育てよう・食べよう  |  |   |
| ねらい       | ◎自分たちで育てたサツマイモを、焼き芋という方法でおいしく食べることができる。<br>○ボランティアの方とふれあう中で、年輩者の知恵や優しさに気付くことができる。  |  |   |
|           | 児童・生徒の活動   | 支援・指導上の留意点   | 資料                                      |
|           | <p>5月25日 サツマイモの苗を植える<br/>・ボランティアに植え方を教わる</p> <p>6月～10月 水やりや草取り、成長の観察をする</p> <p>10月 7日 サツマイモの収穫<br/>・ボランティアに収穫の仕方を教わる<br/>・ボランティアにお礼の手紙を書く</p>  <p>10月25日 焼き芋作り<br/>・焼き芋の準備をボランティアに教わりながら行う<br/>・焼けた芋をボランティアと一緒に味わう<br/>・感想発表とお礼のあいさつ<br/>・ボランティアにお礼の手紙を書く</p>  | <p>・ボランティアに苗の扱い方を指導してもらう。<br/>・サツマイモを育てるために必要なお世話を考えさせる。暑い日は水やりに行ったり、草取りをしたりするなどサツマイモが大きく育つよう、成長を見守らせる。<br/>・観察の際には、児童がサツマイモの成長に気付けるよう、葉の大きさやツルの長さの比較など、観点を示す。</p> <p>・サツマイモは雨に濡れてしまうと腐ってしまうことをボランティアに教えてもらい、サツマイモが濡れないよう大事に扱わせる。<br/>・サツマイモと一緒に収穫してくれたボランティアにお礼の手紙を書かせる。</p>  <p>・事前にボランティアに燻炭焼きを依頼しておき、教師は焼き芋作りに必要な道具・材料の準備を行う。<br/>・朝早くから、燻炭の準備をしてくださったボランティアに感謝して食べるよう指導する。<br/>・これまでお世話になったことを想起させ、サツマイモと一緒に育ててくれたボランティアにお礼の手紙を書かせる。</p>  |   |
| 成果と課題     | <p>○サツマイモの苗を植える活動から始まり、お世話をし、焼き芋にして食べるという一連の活動を行うことで、栽培活動への興味関心を高めることができた。</p> <p>○地域ボランティアの方と関わることで、感謝や尊敬の気持ちをもつことにつながり、手紙などでその思いを表現することができた。</p> <p>▲児童がより主体的にボランティアと関われるように、栽培活動から焼き芋までに必要な世話や準備について考えさせる単元計画を立てる必要があった。</p> <p>▲ウイルス禍のため、ボランティアと一緒に会食はできなかったが、一緒に食べることで、より感謝の気持ちを表すことができると思う。</p>  |  |   |
| 家庭・地域との連携 | <p>・地域ボランティアの齋藤様が、二葉ネットを通じて、各ボランティアの方へ連絡調整を行ってくださった。</p> <p>・事前に活動の具体的な打ち合わせを行ったことで、充実した学習を行うことができた。</p> <p>・児童が、食べきれなかった焼き芋を家に持ち帰ることで、家族と焼き芋作りについての話をしたり、焼き芋と一緒に食べたりすることができた。</p>   |  |   |